

平成27年度入試 個別学力試験問題

総合問題（出題意図）

《法文学部法経学科》

1

問1 基本的な漢字の認識度をはかることを意図した。

問2 ナショナリズムとその他のイデオロギーの相違に関する筆者の考えを正確に把握できる読解力があるかどうか、また指定された字数のなかでそれを的確に説明できる文章表現力があるかどうかを問うことを意図した。

問3 「市民の政府」と「民族の国家」の相違に関する筆者の考えを正確に把握する読解力があるかどうかを問うことを意図した。

問4 空欄に入る語句を選択肢のなかから選ばせることにより、文意を正確に把握できているかどうかを問うことを意図した。

問5 筆者の考える「ナショナリズムの希望と幻想」を正確に把握する読解力があるかどうか、また指定された字数のなかでそれを的確に説明できる文章表現力があるかどうかを問うことを意図した。

2

問1 時系列で示した日本の雇用・賃金統計から、正規雇用・非正規雇用の動向と賃金水準との関係を正確に読み取ることができるかを問うた。

問2 雇用形態、賃金水準、既婚率データなど、複数のデータを総合して関係性を読み取ることができるか、また、それを限られた字数での的確に表現できる文章能力を問うた。

問3 家族類型の変化に関するデータなどをもとに、その特徴を抽出するだけでなく、変化をもたらした社会的要因について考察し、それを限られた字数での的確に表現する文章力を問うた。